

## 薬物乱用防止教室を開催しました

11月27日(木)に、練馬区薬剤師会の斎藤英男先生をお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。喫煙、飲酒、薬物の話を分かりやすく説明していただきました。自分とは関係ない遠い話だと思っていたかも知れませんが、いつも飲んでいる薬も容量や用法が間違っていると薬物乱用になるということを学びました。また、少し前に話題となった大麻グミやオーバードーズ(薬の過剰摂取)などの話もしてくださいました。質問コーナーでは、多くの疑問が寄せられ、真剣に取り組んでいる様子が伺えました。



薬物乱用は心と体をボロボロにするだけでなく、家族や友人を巻き込み、大事な人生を台無しにしてしまいます。「自分は大丈夫」「一度だけなら」「ちょっとだけなら」といった安易な考えは危険です。薬物乱用の恐ろしさを正しく理解し、絶対に手を出さないようにしましょう。

感想から



もしあなたが仲の良い友達に薬物、飲酒、喫煙などに誘われたら、どうしますか。具体的に記入してください。

- ・きっぱり断る。
- ・近くの大人や親などに相談する。
- ・無視。
- ・私はいいやとすぐに断る。しつこかったらなにか理由をつけてその場を去る。
- ・断って友だちに辞めるように言ってやめないとなら関係をきる。
- ・徹底的に断り、友達にもやめたほうがいいよと注意する。
- ・●断る●逃げる●その人との付き合いを辞める。
- ・きっぱり断って、その友達とは距離を置く 誘われたことを周りに知らせる。
- ・断るか無視して逃げる。その後、信頼できる人に相談する。



## 2 今日の授業を聞いて、疑問に思ったことや知りたいこと、感想を記入してください。

- ★自分たちの身近には危険なものとかいっぱいあるし、大麻とかをやると一生抜けられなくなってしまうから怖いと思った。
- ★怪しい薬はダメだと知っていたけれど、いつも飲んでるような薬も危ないと知って怖かった。
- ★薬物を1度でもやってしまうとやめられなくなってしまったりして、自分や周りにも悪影響がでてしまうから最初からやらないほうがいいと思った。
- ★市販の薬でも一度にたくさん飲んでしまったらそれは薬物乱用になることがわかった。
- ★薬物をどうやったら見分けられるのか疑問に思った。
- ★薬物など、危険なものはどこで作られているのか。
- ★薬物乱用は、心と体をボロボロにするだけではなく、家族や友人を巻き込むということがわかつて良かったです。
- ★もう少し薬物の種類について知りたい。
- ★一応介護士を目指してるので、利用者や患者のタバコのことやお酒のこと、薬物のことが知りたくなっていました。また、アレルギー性鼻炎を抑える薬などを毎日服用してるので、薬の数え間違えなどでオーバードーズしないよう気をつけようと思いました。
- ★薬物は持っているだけで犯罪だということがわかつた。
- ★薬物の危険性や実際にあった事件などをたくさん知って、自分も売ったり買ったりする人にならないように今から気をつけようと思いました。薬などの危険性をみんなに知ってもらうために、今からできることを考えていこうと思います。
- ★今日の授業で、違反薬物のことで悩みがあるとき警察や病院だけでなく薬剤師さんにも相談ができるとわかつた。また自分達の身近にも違反薬物はたくさんあるとわかつた。これからは、薬物などをやろうと誘われてもきっぱり断るし、そもそも近づかないようにする。
- ★薬物は改めて危ないものだと再確認した。危険な薬物は合法になる場合もあるか知りたい。
- ★今日の授業を通して、やはり薬物や、飲酒などは一度だけならしていいんじゃないかと言う意見は捨てて、とても危険なものとして見たほうが良いのかと改めて思いました。薬物は一度やり始めたら抜け出せないパターンが多いとわかつたので薬物は使わないようにします。
- ★小学校の頃にも授業で薬物のことについて学んだことがあったが、今日の授業を聞いて、改めて薬物の危険さやどれくらいの種類があることなどを知ることができた。今まで起こったことのある薬物の事件を知って、薬物はどれくらい身近な存在なのかを知り、知らない人に近づかない、自分の知らない商品などに興味を持たないようにしようと思った。
- ★薬物などは摂取するとやめられなくなるので絶対にかかわらないようにしようと思った。また、タバコやお酒は特に身近なので気を付けるようにしようと思いました。

